

「出会いから学ぶ」～菊池北ブロック活動～

問い合わせ先 人権啓発課
☎0968(25)7209

「はい！こちら菊池市消費生活センターです！」
問い合わせ先 菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450
(月)～(金)午前10時～正午、午後1時～午後4時 福祉課

今から十数年ほど前、菊池市は文科省から「人権教育総合推進地域事業」の指定を受け、人権教育のとらえ直しを行いました。それに伴い、これまでの行政主体の取り組みから、地域が主体となって、中学校区で人権啓発活動を推進することになりました。指定終了後、この取り組みは市内5中学校区へと広がっていきました。

今月からは、市内5中学校区での取り組みを紹介いたします。菊池北ブロックでは、4つの校区人権啓発推進会議（菊池北・龍門・迫間水迫・水源）があり、それぞれの地域の実態に応じた活動を行っています。

野尻千穂子さんの出会い

菊池北地区では毎年、人権教育講演会を実施しています。昨年度は、野尻千穂子さんに「個性の花をさかせよう」という演題で講演していただきました。

「小さい頃に突然、原因不明の病気で胸から下の麻痺を患ったこと。しかし、意味のない人生はないこと。下肢は動かなくても、両手が使えることでいろいろなる資格を取れること」など、障がい者であることを臆することなく話され、前向きに生きている野尻さんの姿が感動的でした。最後には「自分も命の花を咲かせたい。与えられた体で生きていこう」と力強いメッセージをいただきました。参加者からも「生きていくことの意義と多くの元気をいただきました」といった感想が寄せられました。

た感想が寄せられました。

先進地視察研修での学び

差別の現実を学ぶため、毎年、先進地視察研修を行っています。研修では、水俣病語り部の緒方正実さんから、自らの体験を聞くことができました。その一部を紹介いたします。



龍門地区での人権花だん作り

人権の花活動を通して

4地区では、季節に応じた人

「水俣病の被害に遭い、苦しみながら失われた、人間、魚、鳥すべての魂が宿っていると思われる水俣湾埋立地にある、実生の森の木の枝で作った『こけし』です。すべての失われた生命に祈りを捧げながら、『命の大切さ』と、二度と水俣病のような悲劇が繰り返されないよう、願いをこめて彫り続けています。白木のままで、目や鼻や口を描いていないのは、未完成の意味です。受け取られたみなさまの思いの中で完成させてください。」

参加者からは「当事者のことには重みがあり、初めて知ることばかり」といった感想が出されました。差別をなくし、気づき、行動できるよう、今後も人権啓発活動をより充実させていきます。

不審電話（アポ電）に注意！

悪質商法にだまされないために

家族や警察官、金融機関職員などを装って、財産や家族構成、預貯金の金額、現金保管状況やキャッシュカードの有無などを聞き出そうとする不審電話（アポ電）の情報が全国的に報告されています。このような電話は、強盗や振り込め詐欺につながる可能性がありますので、次の点に注意して対処しましょう。

相談を受け付けています

- ▼着信電話通知や留守番電話などの機能を使い、誰からかかってきたか分かった上で電話に出る。
- ▼心当たりのない電話に出たら、名前を名乗ったり、家族や資産状況などを答えたりしない。
- ▼電話中に資産状況などを聞かれたら、電話を切る。
- ▼家族や親戚など、親族を名乗る人からの電話はいったん切る。その後、親族に電話して、電話が本当に親族からのものだったかを確認する。

悪質業者は、録音やメモなど、記録が残ることを避ける傾向にあります。

